

# 19年度決算認定



決算特別委員会で細部にわたり審査

## 決算特別委員会で審査

～議員から204件の質疑～

町側からの提案を受けた議会では、直ちに決算特別委員会を設置し、委員長に上野勝議員、副委員長に下野義子議員を選出。尾作議長、原監査委員を除く16名により、3日間にわたって審査を行いました。

一般会計では、前年度と比較して歳入では約1億2,663万円(1.08%)の増、歳出では約1,271万円(0.11%)の減となっています。

一般会計決算における決算委員会質疑のピックアップを次ページ以降に掲載しております。

各議員の賛否は11ページに記載



起立採決の様子(本会議)

今回の議会には、平成19年度一般会計・各特別会計の決算認定の議案が上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成16名、反対1名で、また、各特別会計については全会一致で可決、認定しました。

決算認定の議案を提出するにあたり、町長から、19年度は町が目指す「人と自然が織りなすまちみずほ」の実現に向けての諸事業を次のとおり実施したとの説明がありました。

なお、平成19年度決算から「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、健全化判断比率の報告が義務付けられ、健全であるとの報告がありました。



石塚町長が決算を提出

町長が決算議案を提出

### 環境と共生するまちづくり

- ・容器包装プラスチックの圧縮梱包処理施設の建設に着手
- ・第5分団の車庫等を新築

### 活力ある生活を 支えるまちづくり

- ・箱根ヶ崎北会館の空調機器等の改修
- ・瑞穂町スポーツ・レクリエーション振興計画を策定
- ・町内4カ所に観光看板を設置

### 自らを高め互いを 認め合うまちづくり

- ・瑞穂中学校の耐震補強工事
- ・第五小学校のトイレ環境整備工事
- ・瑞穂町教育基本計画策定に着手

### まちづくりを 推進するための施策

- ・人事考課システムを導入

### ●各会計の決算額

会計名	歳入	歳出	
一般会計	118億6,688万7,780円	114億7,509万8,673円	
特別会計	国民健康保険	34億777万2,348円	34億777万2,348円
	駅西土地区画整理事業	6億8,717万6,903円	6億6,405万7,655円
	下水道事業	11億4,124万3,138円	11億2,445万9,049円
	老人保健医療	16億4,652万6,139円	15億9,964万2,234円
	介護保険	13億3,274万3,477円	13億1,216万4,556円
	殿ヶ谷財産区	550万9,612円	399万4,307円
	石畑財産区	2,815万1,460円	2,665万8,623円
	箱根ヶ崎財産区	821万455円	622万1,033円
長岡財産区	63万698円	40万2,180円	

賛成

下野 義子 議員

歳入では前年度比で1.08%増となった。特に収納率の向上が図られたことは高く評価する。歳出では、土地区画整理事業の推進、第5分団車庫の建設、瑞中耐震補強工事、通級指導学級の開設、姉妹都市交流など、幅広い事業が推進された。

健全化判断比率も良好な値を示し、健全な行政財政運営が堅持されたと評価できる。

反対

大坪 国広 議員

栗原地区の区画整理は、JR八高線の複線化や新駅構想も不明確であり、駅西・殿ヶ谷地区での土地下落による問題点を教訓とし再検討すべきであった。

保育園の待機児童対策は不十分であり、園の建設が第一の解決策。東京都以外の全国で実施されている少人数学級は、小学1・2年生、中学1年生だけでも町独自で実施すべきであった。

一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。(要約)